

上中妻のいま そしてこれから

こころ豊かに 恵みの大地

未来につなげ ふれあいの輪！



上中妻地区住民の会

地域コミュニティプランとは

居住地区を同じくする地域の将来像や課題、その解決に向けたまちづくりの活動計画書です。

計画書は地域の代表団体である住民の会が取り纏め作成し、関係団体や水戸市と連携しながら“豊かなまちづくり”の活動をしていきます。住民の会の目的や活動内容は巻末8頁“ふれあい 支え合う 地域の宝”「住民の会って何？」を、参照ください。

水戸市では、平成27年度までに小学校区単位全地区でコミュニティプランを策定し、まちづくりを進めてきました。しかしながら、策定後10年が経過し、この間社会環境も大きく変化してきたことから、令和6年度第7次総合計画において新しいコミュニティプラン作成が位置づけされたため、当地区においても見直しを実施しました。

その基本は、平成26年度策定時の「上中妻のいま そしてこれから」の将来像を踏襲しています。

私たちは、人と人とお互いを思いやり、心ふれあい助け合って、豊かな環境のもとに安心・安全に暮らし、「この地域に住んでよかった」と思えるまちづくりを、住民の会と各町内会や関係団体とが連携し、このプランを指針として取り組んでまいります。

令和7年12月

豊かなまちづくり概念



上中妻地区の人口・世帯数推移

	平成26年4月 (2014年)	令和7年4月 (2025年)
人口	5,692人	5,970人
世帯数	2,156世帯	2,424世帯

作成：上中妻地区住民の会／水戸市大塚町1157-1（上中妻市民センター内）
印刷：（有）彩美グラフィック／水戸市大塚町1370
発行：令和7年12月

※表紙写真 大塚池公園を囲んで整備された遊歩道

1 安心・安全なまち

凶悪な事件や二重電話詐欺など、新たな手口の犯罪が後を絶ちません。

特に、お年寄りや子どもたちの安心・安全の見守りなど、地域の皆さん方がお互いに関心をもって協力することが大切です。

また、東日本大震災の教訓を踏まえ日頃から防災意識を高め、避難所開設の機敏性、災害時用備蓄品の整備等に各家庭での備えを含めて、町内会や関係団体と連携しながら安心安全なまちづくりに努めていきます。

いまやっていること

- 児童通学時の立哨（防犯連絡会）
- 防犯パトロール（防犯連絡会各支部）
- 年末年始の夜間警戒（消防団第17分団）
- 防災訓練（住民の会）
- 救急救命講習会（女性防火クラブ）
- 災害時備蓄品の整備（住民の会）
- 防犯灯の設置・維持管理（各町内会）



地域の安心・安全を願い 防犯パトロール



これから

- 「地域防災規定」見直し（住民の会）
- 一次避難場所行動マニュアル策定（住民の会）

2 自然環境を守るまち

水と緑の豊かな自然環境のなか、地域の環境維持は継続的な課題です。

「花いっぱい・ごみゼロのまち」をめざして、花壇づくりや町内会ごとの定例清掃活動・ボランティア団体などによる資源物回収活動、農村地区での歩道・農道・水路の整備作業など、地域の皆さん方と共に、環境のきれいなまちづくりに努めていきます。

いまやっていること

- 花壇づくり（各種団体）
- 町内会ごとのごみ清掃（各町内会・地区一斉清掃）
- 環境実態調査、不法投棄防止対策（住民の会）
- 資源物の集団回収（町内会・ボランティア団体）
- 歩道・農道・水路の除草整備作業（町内会・耕作者団体）
- 小枝ばらい、溝はらい（町内会・耕作者団体）



地域の環境保全に 共同作業で取り組む



これから

- 水戸市の「ごみゼロキャンペーン」（5月30日）に合わせ、地区内のごみ拾いや草刈り等環境美化の日を目指します。

3 支え合い助け合うまち

少子・高齢化、核家族化などが進むなかで、ひとり暮らしのお年寄りや、育児・子育てといったことに社会的な関心が高まっています。時代の変化のなかで、地域でできることはなにか、みんなで支え合い助け合うまちづくりも大きな課題です。

お年寄りに支えられてきた今までの時代を、これから、この地域を担って育つ子どもたちの将来のために、地域と行政が連携し支え合い助け合うまちづくりに努めていきます。

いまやっていること

- 昔遊び
(小学校と住民の会・高齢者クラブとの連携)
- 田植え、稲刈り体験 (NPO 西部緑化クラブ)
- さつまいも苗植え、さつまいも掘り体験
(アグリメイト・JA 女性部)
- 次世代への食育活動 (JA 女性部)
- 新敬老事業「福寿のつどい」(社協上中妻支部)



これから

- 3世代交流事業
(住民の会・高齢者クラブ・上中妻小PTA)
- 単身高齢者見守り (地域)
- 次世代を担う人づくり、
後継者づくり (地域・団体)



農業体験を通して地域とのふれあい

4 健康でこころ豊かなまち

わたしたちは日頃から健康に心掛け、和やかにこころ豊かな生活を送りたいと願っています。こころも体も健康で明るく過ごしていくためにも「市民運動会」「上中妻ふれあい祭り」など地域の皆さん方が一堂に集い、楽しくふれあえるような居場所づくりに努め、健康寿命の高いまちをめざしていきます。

いまやっていること

- 市民運動会・ふれあい祭り (住民の会)
- お父さんソフト (住民の会)
- 移動学習 (住民の会)
- ニュースポーツの普及 (住民の会)
- サークル活動 (任意組織)



地域の皆さん方が楽しく集うふれあい祭り



これから

- 住み続けたいくなる地域づくり
(地域)

5 絆を深め合うまち

少子高齢化や核家族化が急激に進む影響で、高齢世帯の急増が避けられません。地域で見守り支え合うには、日頃からご近所との顔が見える安心の糧となるお付き合いが何より大切です。そのためにも、町内会への加入推進や退会防止に、町内会や行政と連携を図り努めていきます。

いまやっていること

- 町内回覧や市報などの配付
(水住協・住民の会)
- 広報「ふれあい上中妻」の発行・配付
(住民の会)
- 町内会への加入のすすめ
(水住協・住民の会)



これから

- 情報発信のデジタル化(住民の会)
 - ① 上中妻の成り立ちと地域の歴史
 - ② 広報「ふれあい上中妻」掲載の“ふるさと自慢”シリーズ集約版
(①②は市民センターHPに掲載)
 - ③ 防災マップ 災害時協力井戸等
詳細はQRコードで検索



道路清掃活動を通して交流深め合う

6 伝統文化を守るまち

地域では昔から祭りごとや寄り合いなどの慣わしを通して、深い絆で結ばれてきました。時代の変化とともに、こうした機会がなくなってきていますが、人と人との結びつきの大切さはいつの時代も変わりません。

素晴らしい郷土の伝統を守り、新しい文化を取り入れながら「伝統文化を守る」夢のふくらむ地域づくりに、関係団体と連携しながら努めていきます。



町内(10か所)を渡御する神輿 鹿島神社(大塚町)

いまやっていること

- 郷土芸能太鼓大杉ばやしの伝承
(大塚青壮年同志会)
- 祇園祭継承とおみこし保存
(各神社氏子)



これから

- 阿弥陀如来三尊像里帰りご開帳
(満福寺阿弥陀堂(大塚町表地区))
- ふるさと自慢再発見
ウォークラリー

上中妻地区防災マップ

改訂版

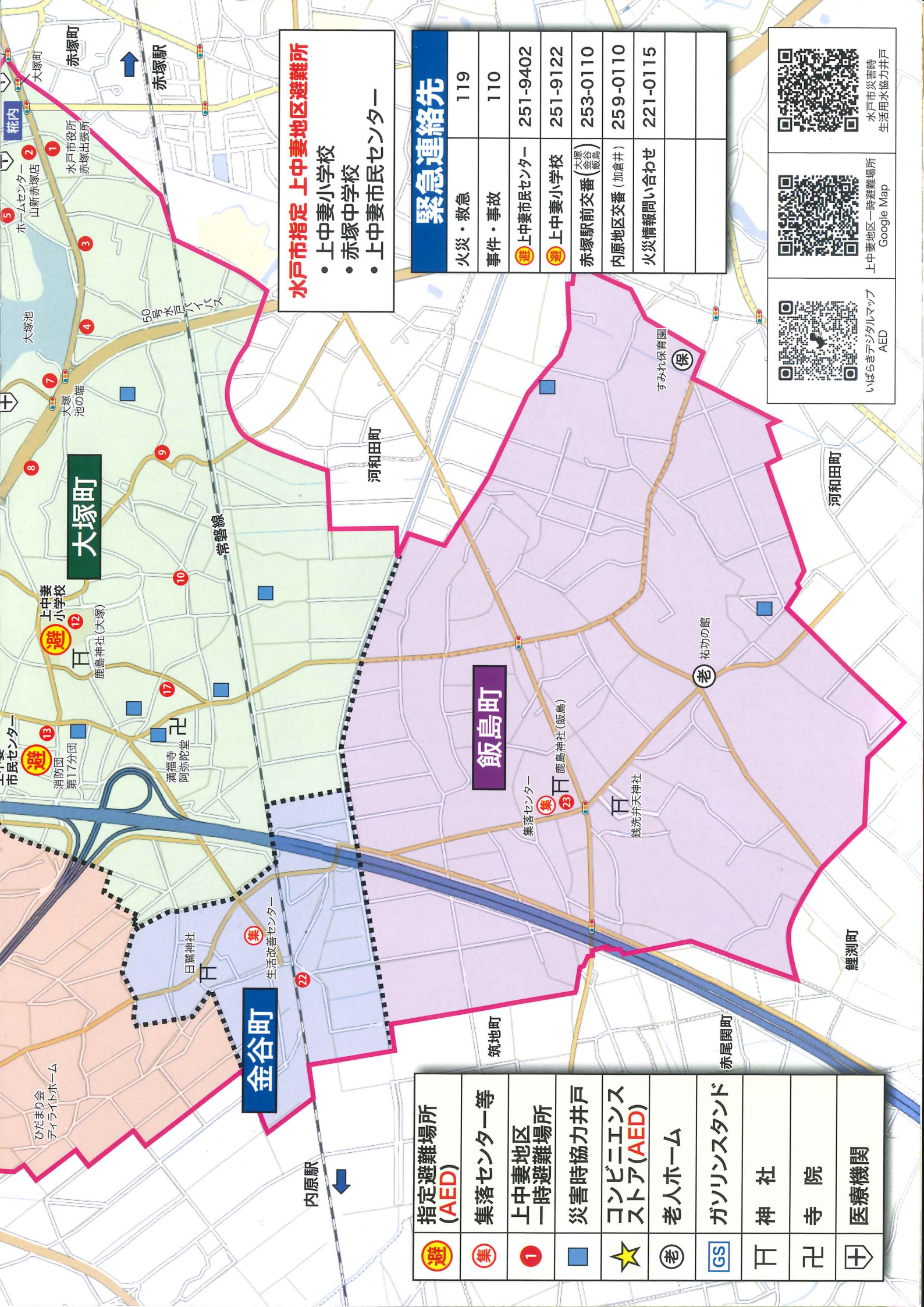
災害時の心得

- 避難する際は電気・ガスの元栓を切る
- 避難する際はご近所へ一声かける
- 運動靴・手袋・帽子で足・手・頭を守る
- 車で避難しない
- 避難は二人以上で
- 家族と落ち合う場所を決めておく

町内会ごとの一時的避難場所です。ご家族で確認しましょう。

町内会名	一時避難場所
睦 第一	① 水戸市役所赤塚出張所
	② ホームセンター山新赤塚店駐車場
睦 第二	① 水戸市役所赤塚出張所
	② ホームセンター山新赤塚店駐車場
梶内一区	③ ネットトヨタ水戸
	④ 極楽湯水戸店駐車場
梶内二区	⑤ 大塚池南門前公園
梶内三区	⑥ caféカワマタ駐車場
原ヶ谷	⑦ 大塚池バス停そば空地
	⑧ ランドローバー水戸店隣駐車場
	⑨ クシダリース事務所
	⑩ 地藏堂共同墓地駐車場
地藏坪第一	⑪ 大塚池公園野球場
	⑫ 上中妻小学校
地藏坪第二	⑪ 大塚池公園野球場・さくら広場
宿 第一	⑫ 上中妻小学校
	⑬ 上中妻市民センター
宿 第二	⑭ 鯉淵球場
	⑮ 老人ホームかたくりの郷
新 地	⑯ 高木クリニック
	⑫ 上中妻小学校
表 一 区	⑬ 上中妻市民センター
	⑰ バンゾウ修理工場敷地及び西隣空地
松 原	⑱ 水戸ドライブイン駐車場
仲 坪	⑲ 加倉井集落センター駐車場
南 坪	⑳ 妙徳寺駐車場
金 谷	㉑ 柳林鉄工所敷地
本 郷	㉒ 旧集落排水処理施設の広場
三 協	㉓ 飯島町集落センター・鹿島神社境内





水戸市指定 上中妻地区避難所

- ・上中妻小学校
- ・赤塚中学校
- ・上中妻市民センター

緊急連絡先	
火災・救急	119
事件・事故	110
避 上中妻市民センター	251-9402
避 上中妻小学校	251-9122
赤塚駅前交番 (大塚 金合 飯島)	253-0110
内原地区交番 (加倉井)	259-0110
火災情報問い合わせ	221-0115

	指定避難場所 (AED)
	集落センター等
	上中妻地区 一時避難場所
	災害時協力井戸
	コンビニエンス ストア(AED)
	老人ホーム
	ガソリンスタンド
	神 社
	寺 院
	医療機関



いばらぎデジタルマップ
AED



Google Map
上中妻地区一時避難場所



水戸市災害時
生活用水協力井戸

ふれあい 支え合う 地域の宝



世の中 どんなに進展しても、人と人とのつながりは不変です。「住んでよかった」と思える地域では、ふれあい支え合いを大切にしています。

自分だけ わが家だけでは 解決できないことも

民子 住民の会ってほんとになによ。
住男 私たちがこの町に住んでいて、自分だけわが家だけではなかなか解決できないことってあるよね。

民子 たとえば？
住男 道路が壊れたときとか、暗い夜道に防犯灯があればとか、道路のゴミ拾いや集積所の後始末とか、みんなで協力しないとできないことってあるでしょ。

民子 それって、みんな市がやってくれるんじゃないの？

住男 もちろん市でやるべきことはお願いしていくけど、同時に私たちが普段生活していくうえで、身近にできることはみんなで協力してやっていったら、近所付き合いもよくなるし、そのために『町内会』を作ってお互いに協力し合っていけばいいことだと思うの。

民子 そうか。子どもたち登下校の見守りや交通安全、火災予防なんかもみんなで行っているのね。

町内会や いくつもの 団体がいっしょになって

住男 そう。警察署や消防署はあるけど、地域でも独自に防犯パトロールや交通安全パトロール隊、消防分団や女性防火クラブといった団体が、私たちの安心安全を見守ってくれているよ。

民子 そういえば社会福祉協議会とか高齢者クラブ、子ども会育成会なんかもそうね

住男 そう。それぞれの町内会やいくつもの地域の団体がいっしょになって、この地域の生活環境や安心安全を

守っていこうという目的で『上中妻地区住民の会』という組織があるんだね。

民子 それって、どこの地区にもあるの？

住男 水戸市には34の小学校区単位に市民センターがあって、それぞれに『住みよい〇〇をつくる会』とか『〇〇コミュニティ』といった名称で地区の組織があるよ。その地区会の組織が集まって『水戸市住みよいまちづくり推進協議会（略称：水住協）』があるよ。

安心安全の 住みよい まちづくりのために

住男 水戸市ではね、『水戸市市民憲章』という私たちが守り心掛けていこうという目標をみんなで決めているの。『美しいまち、文化の高いまち、豊かなまち、住みよい楽しいまちにしましょう』とね。

民子 それで？

住男 この目標を進めていくために、それぞれの地区会がいろいろと相談をしながら事業を計画して、各町内会長や各団体の代表者で構成する理事会・総会にはかって行事を進めているよ。

楽しい行事で みんながふれあう

民子 じゃ、上中妻地区としてはどんなことをしているの？

住男 秋の市民運動会ね。それに『ふれあい祭り』には、市民センターに地域の大勢の人たちが集まって、作品展や芸能発表会、模擬店や子どものお話し広場、ゲームなど、盛りだくさんの催しで楽しい一日になるよ。

町内会や高齢者クラブなどの花壇に

季節ごとに市から花苗が配布されて花壇コンクールがあったり、町内みんなで道路の一斉清掃をしたり、不法投棄などがあれば市や高速道路の担当に通報して常に地域の環境美化にも努めているよ。『ゴミのないまち、花いっぱいのもちづくり』だね。

また火災や、いつ起こるかわからない災害に備えての防災訓練や、バスで郷土の歴史探訪をしたり、お父さんソフトボール大会もあるよ。

会報『ふれあい上中妻』を定期的に発行して各家庭に配り、楽しい行事や町内のできごとを紹介したり、町内会への加入を勧めたりしているよ。

民子 それぞれお仕事や家庭のことで忙しいなかでも、みんなで協力し合って自分のため地域のために頑張っているのね。

協力し合うことで 地域はもっとよくなる

住男 そうね。役員さんも大変だけど、主役はなんといってもこの地域に暮らす一人ひとりだから。地域の人たちみんなが住みよく、みんなが和やかに笑顔になれたらいいよね。

そのためにみんなで話し合っってそれに参加することで多くの人とも親しくなり、困りごとでも相談できるよね。

ここに育ちこの地に住んでいる私達一人ひとりが心合わせ支え合っっていったら、人の和が人の輪となってこの地域がもっと良くなると思うの。

民子 『この町に住んでよかった』と思えるようにね。なんだか明るくなってきたわ。

